



学校だより

令和5年11月30日
横浜市立豊田小学校
12月号

ところ変われば・・・

11月11日（土）豊田小学校の校庭と体育館で、豊田小地域防災拠点運営委員会、栄区役所、栄消防署、栄消防団、豊田小拠点防災委員等の方々とともに、「地域合同防災訓練」が行われました。

この日は、オープンスクールデーとして朝から授業参観を行い、3、4校時には、大地震を想定した避難訓練を実施しました。参加者全員が対面したところで、救助隊のデモンストレーションがあり、屋上からのロープでの降下に大きな拍手がわき起こりました。その後3年生と4年生は、ポンプ車、はまっこトイレ、防災備蓄庫を見学しました。5年生は、第2グラウンドで「消火器訓練」を、6年生は体育館で、「AED心肺蘇生訓練」を行いました。子どもたちは、この地域防災訓練を見学したり体験したりすることを通して、地域防災に対する意識を大きく高めたようです。

さて、早いものでもう12月です。「来年の干支は何か？」と考えるころですね。そもそも今年の干支はなんだったっけ？とちょうど忘れたころに12月がやってきます。

そうそう「ウサギ年」。むかし話に「ウサギとカメ」の話があります。まじめに走ったカメが勝ち、なまけたウサギは負けてしまう。だから、みんなもまじめにこつこつと努力なさい、という話。世界には「ウサギとカメ」の話がたくさんあると、ある本に紹介されていました。内容や教訓が少しずつ違って興味深いのです。

フランスでは、ウサギはカメを先に走らせておいて、ゴール近くでかっこう良く追いぬこうと考えていました。しかし、スタートがおそすぎたので、ウサギはカメを追いぬくことができずに負けました。教訓は、もう少し早くスタートすればよかった。

イランのカメは頭のいいカメです。競走をはじめる前に、自分そっくりな弟をよんで来て、ゴールに立たせておいてから競走をしました。ウサギがどんなに速く走ってもカメには負けてしまうことになります。教訓は、意味のない競争をするな。

インドの話は、日本と同じ。つまり、ウサギは昼寝をしてカメに敗れます。でも悪いのはカメということになっています。「もしもしウサギさん、目を覚ましたらどうですか」と、なぜ一声かけてやらなかったか？となります。で教訓は、友情を大切にしないといけない。

カメルーンのカメは親類のカメたちを集めました。走る道筋に一定の間隔でかくれていてくれとたのみ、そして出走。ウサギが途中で確かめるたびに必ず後ろにカメがいたので、走りに走る。ついにゴールで倒れて死んでしまいカメの勝ち。教訓は、大切なものは準備・知恵・連帯。

同じ「ウサギとカメ」でも、国によってずいぶん違うものですね。ところ変われば品変わる。似たようなものでも見る人によって、その捉え方や考え方が異なってくることを教えてくれています。

12月4日から12月10日まで人権習慣です。ウサギ年にちなんで、「ウサギとカメ」を思い出しながら、それぞれの国・人にはそれぞれの考え方がることや、互いに尊重し合うことの大切さについて考える年の締めくくりにしたいと思います。